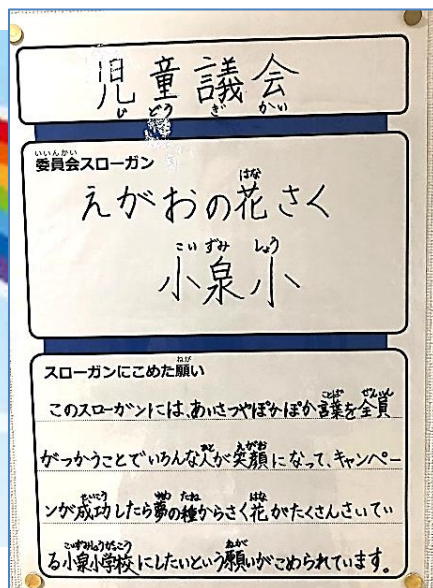
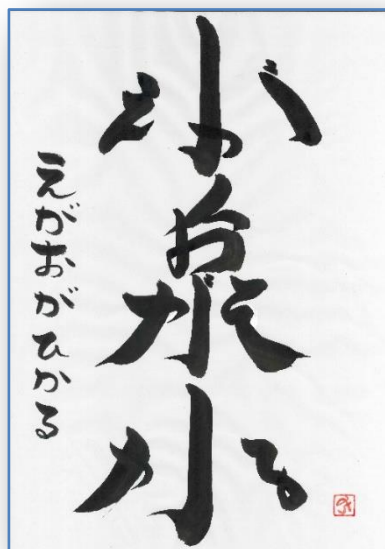




たか やしろ 高 社

小泉小学校だより
令和5年4月28日
(No.2)



4月25日(火)の朝、オンラインで全校集会が行われ、児童会長・児童議会からスローガンの提案がありました。スローガンは「えがおの花さく小泉小」で、「このスローガンには、あいさつやぼかぼか言葉を全員がつかうことで、いろいろな人に笑顔になってほしい。キャンペーンが成功したら、夢の種からさいた花でいっぱい的小泉小にしたい」という願いを、児童会長が語ってくれました。私は、児童会長の願いと自分の願いが同じで、とてもうれしく感じました。

この願いを実現するために、まずあいさつからと考え、毎朝、昇降口に立ちだかっています。次々とやってくる子どもたち一人一人に向けて、「おはようございます！」と声をかけ続けています。

中には立ち止まって丁寧に礼をしてあいさつする子、帽子を取ってあいさつをする子、笑顔で私の目を見てあいさつをする子、遠くの方から大きな手で手を振りながらあいさつする子など、4月の初めと比べても、元気よくあいさつをする子が増えてきました。

笑顔が光り、たくさんの花が咲く小泉小をめざし、これからも工夫して取り組んでいきます。楽しみです。



「今の自分にできることで、自分の価値を判断しちゃいかん。

五年後の自分の可能性を舐めるなよ」 喜多川泰『スタートライン』

私は、子どもたちに接する時、できていないことがどうしても気になってしまい、ネガティブな気持ちになる時があります。ですが、よくよく考えてみると、今できないことがずっとできないままかというと、決してそうではないのです。毎日過ごしていく中で、急には変わっていかないけれど、前できなかったことが少しずつできるようになっていく姿を、本当にたくさん見てきました。子どもたちは、必ず成長します。変わっていきます。私たちは、いろいろやってやりたい気持ちをぐっところえて見守り、少しでもできるようになったことを励まし、子どもたちの可能性を信じて接していく。悩める方々へ、この言葉を贈ります。